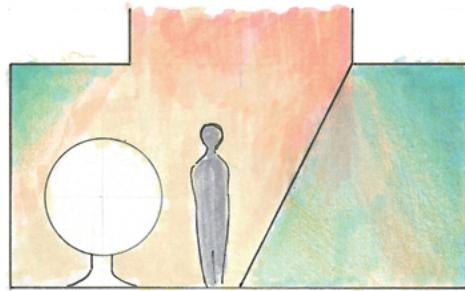
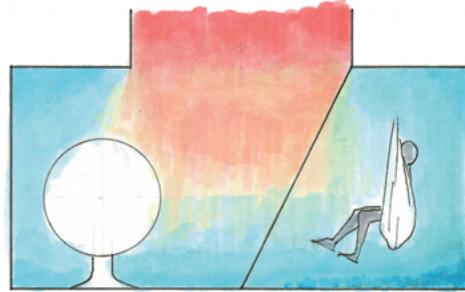


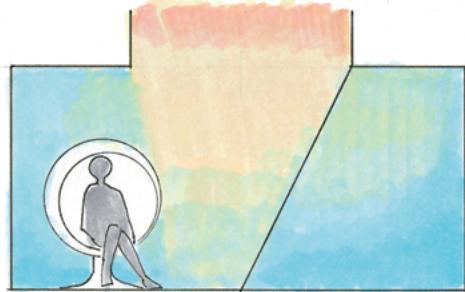
°Color～色と住まう空間～



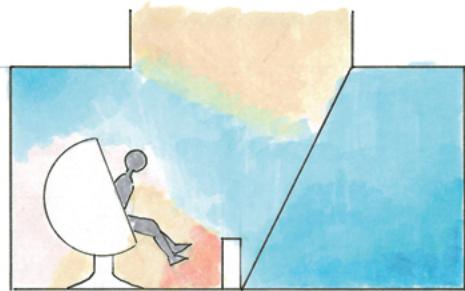
春は比較的暖かい季節ではありますが、温度の差が激しい季節でもあります。一番色の変化が激しく、変色の面白さがとても感じられると思います。



夏は日光が直に入ります。そのため、室の温度も上がり、暑くないイメージが湧きますが、室温調整で吉屋の温度を下げることで色が変わり寒色の涼しげな空間が演出できます。



秋は温度が安定し壁の変化は少なくなりますが、その分日光により、その変化がわかりやすくなります。毎時間移動していく光や影がステンドグラスの色と重なって更に新しい色を生み出せます。



冬は日光がリビングに直接入ることも少なくなります。しかし、防寒具を用いることで寒い部屋の中でも、一部分だけは温かみのある色になり、温度の違いを感じることができます。



・西・春・



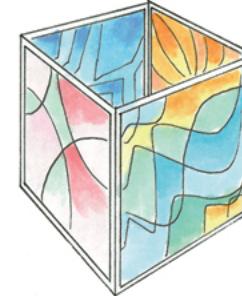
・南・夏・



・東・秋・



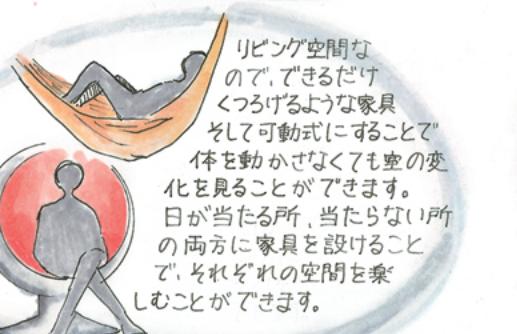
・北・冬・



・立面 11°-ス・



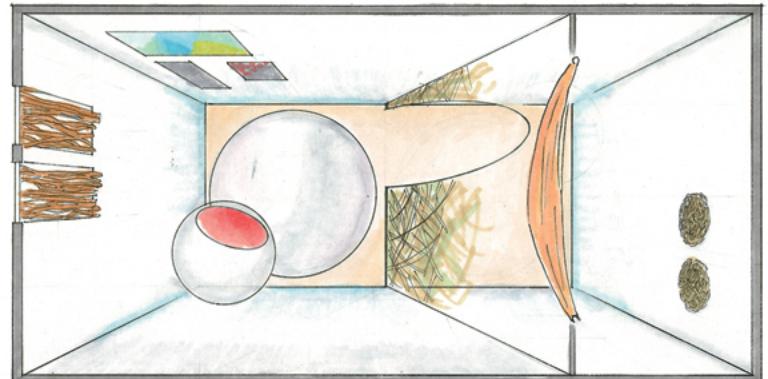
・東・秋・



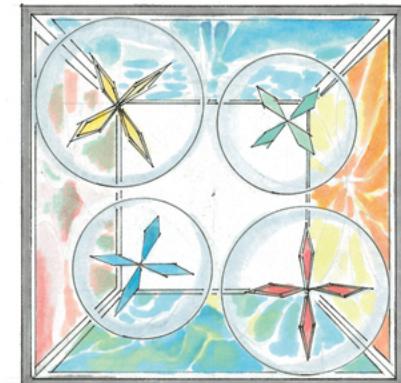
・北・冬・

・コンセプト・

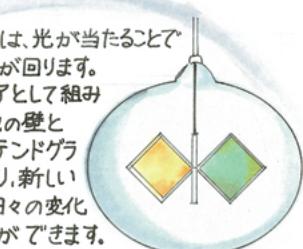
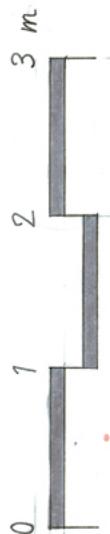
生活していくうちに新鮮な気持ちは薄れていってしまうものではないでしょうか？日々の生活の中に新しい発見があること。時間の流れが空間に変化をもたらすことに着目し、それをインテリアに活用しました。



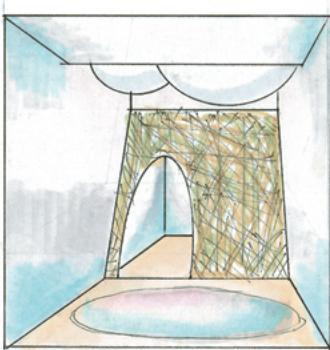
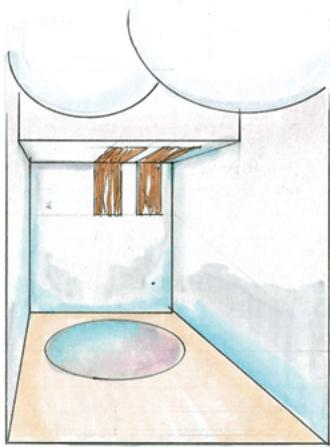
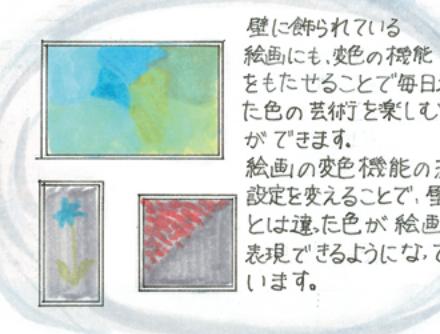
・上からリビングを臨む・



・リビング上部 11°-ス・



リヒトミュージは、光が当たることで 中にある羽根が回ります。それをインテリアとして組み込むことで変色の壁と リヒトミュージのステンドグラスの色が重なり、新しい 色が生まれ、日々の変化を楽しむことができます。



・それぞれのヤケの格子を見る・

壁に飾られている 絵画にも、変色の機能 をもたせることで毎日違った色の芸術を楽しむことができます。絵画の変色機能の温度設定を変えることで、壁の色とは違った色が絵画に表現できるようになります。